



マーチィ's ROOM

マーチィに訊け!

●群馬地名由来の探求●

【編集長の一枚】



四阿山から臨む北アルプスの山々
(H25.3月撮影)



まち's クリ

ねえ、マーチィ。読み方が難しい山の

“四阿山(あずまやさん)”について教えてクリ!!



マーチィ

四阿山は、群馬県嬭恋村と長野県との県境にある標高 2,354mの山で、日本百名山の1つなんだ。長野県側は「四阿山」と呼び、群馬県側では「吾妻山」とも呼ばれてるんだよ。「アズマヤ」の語源については、“アズ(崩)”は崩壊地形、“マ(間)”が崩壊地形の山という意味で、地形の「崩壊」を表す言葉と言われてるんだ。また四阿山は、山の形が円錐形なので、茶亭の“アズマヤ(東屋)”の屋根の形に似ていることが由来など、複数の説があるんだよ。

参考資料:「群馬の地名をたずねて」上毛新聞社発行

マーチィ VOICE

●ファシリテーターの紹介●

まちづくり玉村塾 樋口 律子



樋口律子さん(下段左から2番目)



講座の様子

群馬県まちづくりファシリテーターに認定されました、まちづくり玉村塾の樋口律子です。玉村塾で活動していたお陰で、「パートナーネットワーク講座」に参加させていただき、今回、とても価値のある経験が出来ました。

私が所属している「まちづくり玉村塾」は、今に受け継がれる自分たちのまちの財産や誇りを再認識し、将来のありようを考え、愛着をもって暮らせるまちづくりを目指し、活動しています。恒例となっている活動では、佐波伊勢崎で唯一の造り酒屋で、塾生が苗から育てた酒米で仕込んだ「純玉村産の手作りの日本酒」づくり、そのお酒を飲みながら楽しめる酒蔵コンサート、玉村町の最大のお祭り「ふるさとまつり」での赤レンガ倉庫を活用した町民の展示会等、ペットボトルを再利用した燈籠を1000個以上、玉村八幡宮に並べて、幻想的な世界をつくる燈籠宵まつり、年度末に行なう成果発表会、それに加えて、県内で行われるまちづくりのコンテストに参加したり、まち歩きガイドツアーなどもやっています。このような活動を通して、町の方々も自分の町の良さを知っていただき、賛同してもらえるように頑張っています。

「ファシリテーター」の勉強は、このようなまちづくりの活動にはもちろんですが、自分自身の仕事に活かせるものでした。トンチンカンな私で、メンバーの方々にはご迷惑をお掛けしたと思いますが、ホントに楽しく学ばせていただきました。ありがとうございました!

マーチィの掲示板

編集長・尾崎が国土交通大学校で区画整理を学んできました!!



写真: 班別討議の様子

1月20日(月)~31日(金)の12日間、国土交通大学校で区画整理を学んできました。研修では、事業に関連する概説・法令・税制などの基本科目、換地計画・土地評価・などの専門科目、大学教授や民間の専門家による関連科目、現地調査・判別討議・発表の課題研究により構成されています。私は、この研修を通しとてもたくさんのもので帰ってきた気がします。

まず一つ目に、土地区画整理事業に関連した知識や情報です。研修の講義により基礎的な知識を得ただけでなく、全国の最新情報や他事業との連携について学んだことで、それを課題研究の素材としながら構想を練り上げることができました。“講義で得たものを演習で活かす”、この手法はたいへん身につくものでした。

二つ目として、班別討議により毎晩遅くまで議論を重ねた班員達との絆です。班員全員が一つの目標に向かって一致団結することで、活発な討議が醸成され、時間を忘れて夜遅くまで議論をしていました。こういった時間を共に過ごすことにより、班員達の表面的な意見だけでなく、これまでの経験なども織り交ぜながら議論するため、班員各々の経験や考え方も分かり合えた気がします。もちろんお酒もいっぱい酌み交わしましたが・・・。

三つ目に、ファシリテーターという役割の重要性の再認識です。今回の課題研究では、私自らファシリテーターを買って出て討議の案内役となったわけですが、討議を進めるあたり次の4点を留意しました。①全員からの意見の引き出し ②全員の討議内容の情報共有 ③次のステップに行く前の意識確認 ④全員が討議に混ざれる雰囲気作り 当初はこちらが班員に意見を求めることで討議に参加するような雰囲気でしたが、日が進むにつれ積極的に意見が出るようになり、最後には私の出番がないくらいまで議論がふくらんで、かなり深い討議ができました。その結果、課題発表において、「これは基本構想ではなく、もう一段階上の基本計画に近いものだ」とのお褒めの言葉もいただき、素晴らしい討議ができた賜だと認識しています。ファシリテーターって、かな〜り重要ですね!! みなさん、パートナーネットワーク講座を受講しましょう!!

最後に、研修に行く前は「研修に行っても本当に得るものはあるのだろうか」との疑問を抱きながらの参加でしたが、研修を通して得るものはとても多く、たいへん素晴らしい研修でした。読者の方で、もし参加する機会がありましたら、是非積極的に参加されることをオススメします!!

